

施設整備の基本方針について

基本方針の位置づけと役割

基本方針は、本市のごみ処理の現状と今後のごみ処理事業の在り方を踏まえ、施設の設計、建設、運営に際しての方針を示すものです。

あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業基本構想策定の基本方針は、市民憲章、上位計画（総合計画、一般廃棄物処理基本計画等）を踏まえ、以下のとおりとします。

福島市あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業基本構想策定の基本方針**1. 安全・安心な環境にやさしい施設整備**

- （１）最新技術の導入も検討し、安全かつ安定的で衛生的な処理が行える施設とします。
- （２）高度な公害防止設備を設置し、市民が安心して生活できる生活環境を保全します。
また、温室効果ガスの発生を抑制し、自然環境への負荷を低減します
- （３）災害に強く長期間の稼働に耐えうる施設とします。

2. 循環型社会の形成に寄与する施設整備

- （１）施設で発生する余熱を積極的に回収し、発電等による有効利用を図ります。
- （２）既存の余熱利用施設との連携を、円滑で効率的なものとし、安定した熱供給を行います。
- （３）施設で発生する焼却灰の減容化・再資源化を検討し最終処分場の延命化を図る施設とします。

3. 周辺環境と調和した施設整備

- （１）周辺環境と調和した色彩、デザイン等により、景観に配慮した施設整備を図ります。
- （２）利用者の立場に立った小動物焼却施設の整備も図ります。

4. 市民との協働による施設整備

- （１）地元住民との協議・情報共有により、信頼関係に基づく施設整備を図ります。
- （２）利用者をはじめとした市民の意見を反映し、施設の動線・配置計画を検討し、安全で利便性の高い施設整備を図ります。
- （３）既存施設の内、建設予定地に配置されているヘルシーランド福島の駐車場や屋内ゲートボール場の再整備も検討します。

5. 経済性に優れた施設整備

- （１）過大とならない施設規模の検討や、効果的な設備の選定を行い、費用対効果の高い施設とします。
- （２）建設費及び維持管理費を含めた全体的な費用の縮減を図ります。
- （３）効率的な管理運営により、運営費の縮減を図れるよう検討します。
- （４）国の交付金制度を最大限活用できる施設の整備を検討します。